

みずほCustomer Desk Report 2018/06/15号(As of 2018/06/14)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.33
TKY 9:00AM	110.24	1.1803	130.12	1.3376	0.7570
SYD-NY High	110.70	1.1853	130.35	1.3446	0.7582
SYD-NY Low	109.92	1.1563	127.93	1.3258	0.7475
NY 5:00 PM	110.64	1.1569	127.95	1.3258	0.7476
NY DOW	25,175.31	▲ 25.89	日本2年債	-0.1400	▲ 1.00bp
NASDAQ	7,761.04	65.34	日本10年債	0.0400	▲ 1.00bp
S&P	2,782.49	6.86	米国2年債	2.5676	▲ 0.41bp
日経平均	22,738.61	▲ 227.77	米国5年債	2.8068	▲ 2.89bp
TOPIX	1,783.89	▲ 16.48	米国10年債	2.9342	▲ 3.85bp
シカゴ日経先物	22,875.00	55.00	独10年債	0.4280	▲ 5.35bp
ロンドンFT	7,765.79	62.08	英10年債	1.3335	▲ 3.30bp
DAX	13,107.10	216.52	豪10年債	2.7190	▲ 6.60bp
ハンセン指数	30,440.17	▲ 284.98	USDJPY 1M Vol	6.50	▲ 0.20%
上海総合	3,044.16	▲ 5.64	USDJPY 3M Vol	7.16	0.01%
NY金	1,308.30	7.00	USDJPY 6M Vol	7.69	▲ 0.07%
WTI	66.89	0.25	USDJPY 1M 25RR	-0.78	Yen Call Over
CRB指数	199.01	▲ 1.08	EURJPY 3M Vol	8.88	0.08%
ドルインデックス	94.77	1.06	EURJPY 6M Vol	9.10	0.07%

東京	オセア時間、トランプ政権が知的財産権の侵害を理由に中国製品に制裁関税を課す方向で調整しているとの報道が意識される中、110.08まで下落。その後はやや反発し、110.24レベルで東京時間オープン。日経平均株価が底堅い展開となる中、ドル円はじりじりと上昇。その後日銀が国債買入オペで残存3年超5年以下の買入額を300億円減額し、3000億円としたことから110.19まで瞬間的に下落したものの、すぐに反発し、110.30台を回復。午後に入ると日経平均株価が軟調推移となるのを横目にドル円は上値重く推移。一時110円割れの日中安値109.96まで下落し、110.02レベルで海外に渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、110.02レベルでオープン。安値109.92を付ける場面も見られたが、その後は反発し、110.12レベルでNYに渡った。ユーロは、1.1806レベルでオープン。ECB理事会への期待からユーロが買われる展開となり、1.1830付近まで底堅く推移。ECB理事会で「年末で資産の新規買入れを停止する」と発表されると高値1.1853まで急騰するが、「マイナス金利は来年夏まで少なくとも維持」との報道にユーロ売りの流れとなり、1.1739まで大幅に反落し、1.1740レベルでNYに渡った。ポンドは1.3395レベルで取引を開始。英5月小売売上高が予想を上回ったことで高値1.3446まで上昇。その後、ECB理事会の結果を受けてユーロの下落にポンドは連れ安の展開となり、1.3386でNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	東京市場終盤で下げ幅を拡大した日経平均株価に連れてドル円は109.96まで下落し、ロンドン時間には一時109.92まで続落するも、その後発表されたECB理事会の声明文に反応したユーロ売りドル買いが対円にも波及したことから110.14まで反発し、110.12レベルでNYオープン。ユーロ主導のドル高に加え、米5月小売売上高が予想を上回ったことから、ドル円は110.45まで上昇。その後110.25まで反落するが、欧米の金融政策の方向性の違いが意識され、ユーロ主導のドル高が継続しドル円は高値110.70まで続伸。NY終盤は110.60辺りで推移し、110.64レベルでクローズ。ユーロは1.1740レベルでNYオープン。ドラギECB総裁の記者会見では「インフレ回復のために必要なら今後も現行水準にとどまる」と述べており、ハ派な姿勢を示したことからユーロ売りが一段と強まったことで1.1619まで下落。その後やや反すが、欧米の金利差が意識される中、ユーロ売り優勢な展開がNY終盤まで続き、1.1600レベルを下抜け、ECB発表前から2%超安となる安値1.1563まで大幅下落となり、1.1569レベルでクローズ。

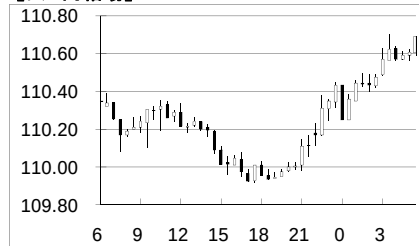
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月14日	10:30	豪 失業率	5月 5.4%	5.5%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 0.5%/2.2%	0.5%/2.2%
	17:30	英 小売売上高(除自動車燃料・前月比/前年比)	5月 1.3%/4.4%	0.3%/2.5%
	20:45	欧 ECB預金ファシリティ・レート	- 0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
	21:30	欧 ドラギECB総裁 講演「政策金利は必要な限り据え置く」		
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	5月 0.8%	0.4%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	5月 0.9%	0.5%

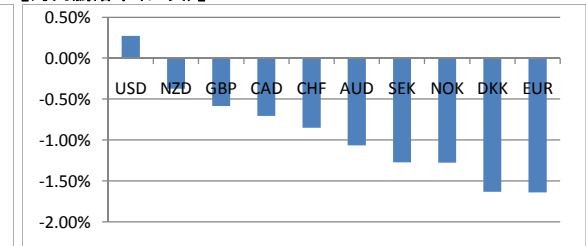
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月15日	-	日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	- -0.1%	-0.1%
	18:00	欧 コアCPI(前年比)・確報	5月 1.1%	1.1%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	5月 0.5%/1.9%	0.3%/1.2%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	6月 18.8	20.1
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月 0.2%	0.7%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	6月 98.5	98.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.60-111.60	1.1500-1.1700	127.00-129.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場ではユーロが大幅に下落。ECB理事会では、年内に量的緩和の終了が決定されるも、政策金利に関しては2019年夏まで現行の水準に留まることが発表されたこと等から、欧州債は金利低下。また、ECBによるスタッフ見通しでは、2018年のGDP見通しが引き下げられる一方で、HICPの見通しは引き上げられたことも材料に、ユーロは大幅に下落。本日は、日銀金融政策決定会合に注目。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:百瀬・田家